

市長
あぶ
ヨラムてっちゃんの
ひとりごと

2月24日から始まったロシアのウクライナ侵攻によって、日本人としては理解しきれない悲しいニュースが日々溢れています。太平洋戦争終戦前夜に空襲を受けた熊谷市は、その後不戦の誓いとともに「非核平和都市宣言」をしています。熊谷市民として一日も早い終戦を祈るばかりです。

本市においても、戦渦に苦しむウクライナ国民の安全を願い、また一刻も早く平和と安定がもたらされるよう強く望み3月4日から熊谷駅正面口駅前広場をウクライナ国旗である青色と黄色にライトアップしています。

また、ウクライナ避難民の方々に対しても安心して生活していただけるよう、埼玉県では県営住宅37戸を確保し、受入れ方針を示しています。そのうち熊谷市には3戸が該当しており、入居後に生活支援が必要な方に対応してまいります。熊谷市としても独自に市営住宅をそれ以上に確保し、入居するための修繕や生活物資が整い次第受け入れできる支援体制づくりを進めているところです。

今後、県の「ウクライナ避難民支援対策連絡会議」と連携して対応してまいりますので、市民の皆様にご理解ご協力をお願い申し上げますとともに、ウクライナ国民の皆様笑顔が戻る日が一日も早く訪れることをお祈りいたします。

※ このコーナーでは、小林哲也市長が日々感じている思いや出来事などを隔月連載でお伝えしています。



熊谷駅正面口駅前広場

